



鳥取市 **ダイヤモンド電機(株)**



▲社員を対象にした「あいサポーター研修」

**しょうがい者雇用の経緯**

1967年5月に鳥取工場設立後、68年2月に内部しょうがい者を採用したことからしょうがい者雇用が始まった。当時、社長だった池永重彦は「しょうがい者雇用は大切だ。しょうがい者を雇用しなさい」と唱え続けたが、しょうがい者が働きやすい職場環境ではなく、中途採用か中途しょうがい者が大半だった。

2005年に鳥取聾学校のインターンシップを受け入れた後、06年4月に初めて聴覚しょうがい者を新卒採用した。1カ月間の新入社員研修は外部機関と連携を図りながら、初めて手話通訳をつけて他の社員と一緒に教育した。

12年3月には知的しょうがい者を初めて雇用。能力があれば誰でも働くことのできる会社を目指し、ハローワーク、障害者職業センターなどと連携を図りながらしょうがい者雇用を進めている。

<概要>  
 所在地／鳥取工場 鳥取市南栄町18番地  
 本社 大阪市淀川区塚本1丁目15-27  
 代表者／代表取締役社長 池永重彦  
 事業内容／自動車用点火コイル・電装部品  
 暖房・給湯電子着火装置、  
 冷暖房用および給湯器用制御装置  
 燃焼器用着火トランス、  
 各種電子制御装置の製造販売  
 職員数／609人(鳥取工場) (2013年9月末現在)

**あいサポート企業になったきっかけ**

「サポート21鳥取」代表の森本信行氏に、あいサポート運動・あいサポート企業についてご紹介いただいたことがきっかけ。『常に信頼を中心に置いて、全ての社員の幸せを追求し、思いやりのある豊かな社会を創る』という当社の経営理念に基づき、2012年4月に「あいサポート企業」として申請。同年5月8日に認定された。

●しょうがい者雇用推移(鳥取工場)

※( )内は重度しょうがい者数

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
内部	1(ー)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	2(1)
聴覚	2(1)	3(2)	4(3)	4(3)	4(3)	5(3)	5(4)
視覚	1(ー)	ー	ー	ー	ー	ー	ー
肢体	4(ー)	4(ー)	4(ー)	4(ー)	4(ー)	4(ー)	4(ー)
知的	ー	ー	ー	ー	ー	1(ー)	1(ー)
合計	8	10	11	11	11	13	12

●あいサポーター研修開催

- ・新入社員[4月]
- ・しょうがい者職場定着推進チーム [9月(しょうがい者雇用支援月間)]
- ・一般社員(一部分の内容) [9月(しょうがい者雇用支援月間)]
- ・一般社員(一部分の内容) [12月]

**あいサポート運動の取り組み内容**

- しょうがい者雇用についての啓発活動
- 職場における作業意欲の把握と援助、激励
- 個別相談による問題点の把握と解決
- 職場配置など職場内容、作業環境の見直し
- しょうがい者職場定着推進チーム会議(2カ月に1回)

「障害」は(障:へだて)と(害:さまたげ)という漢字でできています。当社はどちらの漢字も使わず、ひらがなの「しょうがい」を推奨しています。

**活動を行って 苦労したこと、工夫したこと**

聴覚しょうがい	・コミュニケーションが円滑に行われるようホワイトボードを貸与
内部しょうがい	・必要な場合は手話通訳者を依頼
身体しょうがい	・透析が必要な社員には2時間単位の有給取得を許可
精神しょうがい	・洋式トイレの設置
	・法改正に向けて採用できるよう検討中

**今後の展望、目標**

私たちダイヤモンド電機株式会社の社員が大切にしている社是、「健康に努めよう・信頼に応えよう・明日に向かって前進しよう」は、人生と仕事を支えるフィロソフィである。明日に向かって前向きに進んでいけるように、また、あらゆる事業活動を通じて社員や家族とともに喜びを分かち合い、地域の皆さんと共に歩んでいきたい。そして、社是の真ん中にある「信頼」される企業となるべく努めていきたい。

代表者のコメント

代表取締役社長 池永重彦



情報の展開や円滑なコミュニケーションを目標に、しょうがい者にとっても他の社員にとっても「働きやすい職場作り」を目指したい。キーワードは「思いやりのある豊かな社会」であり、社員全員が同じ価値観を共有していきたい。

●問い合わせ・連絡先  
 TEL0857-53-1121  
 FAX0857-53-1104